

帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その109 10周年記念講演会



金原瑞人講演会 ～翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった～

図書館はこの3月で新館移転10周年を迎えます。それを記念して、翻訳家・法政大学教授の金原瑞人先生をお招きしての講演会を開催します。映画化された『パーシー・ジャクソン』シリーズや『わたしはマララ』など話題の本を手掛けている先生に、翻訳の楽しさ、海外文学の魅力についておはなしを伺います。

期 間 平成28年3月6日(日) 18:15～20:00
場 所 帯広市図書館1階 多目的視聴覚室
定 員 80名(対象 中学生～一般) 応募多数の場合は抽選



入場は無料ですが、事前申し込みが必要です。
応募は往復はがきにて受け付けます。はがき1枚で2名まで申し込みます。
往信の裏に住所・氏名(2名の場合は2名とも)・電話番号を記載してください。
返信の表に代表者の住所・氏名を記載してください。
受付期間 2月2日(火)～2月16日(火)必着

なお、当日会場内での書籍販売は行いません。先生の著作にサインを希望される方はご持参ください。終了後、サイン会を予定しています。



お問い合わせ／応募先 〒080-0012 帯広市西2条南14丁目3番地
帯広市図書館 (電話22-4700)

今月の特集

- ★帯広市図書館から、こんなことを発信しています。
【金原瑞人講演会】
- ★テーマ別オススメ資料
【ことばの魅力に触れる】
【映画を深く読む】
- ★図書館をもっと身近に暮らしのなかに
【とちかちジュニア文芸】



CITY
LIBRARY

2016.2 vol.110



帯広市図書館

よむ☆トショ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します!

暖冬とは言われていましたが、厳しい寒さが続いています。この寒さと先日の降雪で氷まつり(2/5~2/7)の準備も進んでいるとのこと、楽しみです。

今月はおはなし会、映画会、「女性のためのこころスッキリ講座」、とかちジュニア文芸贈呈式・発刊、「インテリア教室」などを予定しています。詳しくは図書館内チラシやホームページをご覧ください。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | | | | | |

2月のカレンダー
色のついている日は休館です。

☆☆☆☆映画を深く読む☆☆☆☆



観る映画をどのようにして決めますか? 予告や評判はたいへん参考になりますが、映画の解説、紹介本を併せて読むと映画鑑賞をより楽しむことができます。映画製作に関わるエピソードから出演者のことまで幅広く集めてみました。古い映画を思い出すきっかけとしてもお役立てください。

BOOK



『映画で読むアガサ・クリスティー』北島明弘;著
近代映画社 2階一般 請求記号(778.2 キ)

「そして誰もいなくなった」「オリエント急行の殺人」などの映画化作品をはじめ、クリスティーの生涯や業績を解説した本です。ミステリの女王は、映画でも話題を提供したようです。クリスティーの攻略本としても魅力的な1冊です。

BOOK



『字幕屋に「、」はない』太田直子;著
イカロス出版 2階一般 請求記号(801.7 オ)

映画の字幕を制作する過程での苦労やエピソードを綴った本です。映画を愛する著者の願いが込められています。字幕翻訳者ならではの知識の広さや機知、そして情熱には驚くばかりです。これから映画を鑑賞する際には、字幕にも注目してみましょう。

BOOK



『「老いがい」の時代』天野正子;著
岩波書店 2階一般 請求記号(367.7 ア)

著者は(惜しくも昨年逝去されましたが)「老い」の研究に造詣が深い社会学者です。戦後昭和の日本映画を題材に、老いの意義や価値について述べています。若い方が将来を見据えて生きるためにも読んで役立つ本だと思います。

BOOK



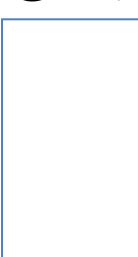
『フィルムは生きている』手塚治虫;著
国書刊行会 2階まんが 請求記号(726.1 テ)

アニメ映画の製作を夢見る若者を主人公に1958年に執筆された漫画です。当時の日本マンガ映画界が描かれています。いのちをテーマに多数の作品を残した手塚治虫の志に触れることができます。雑誌連載時のカラー頁や新発見作品も収録されています。

ことばの魅力に触れる

私たちが毎日使っている言葉。コミュニケーションのため、声で発したり、自分の思考のため読んだり、聞いたりしています。言葉が持つ力は不思議です。私たちに勇気や感動、元気を与えて、時には慰め、癒してくれたりもします。また、時には深く考えさせられたりもします。そんな魅力ある言葉たちがつまった本をご紹介します。

BOOK



『「ついていきたい」と思われるリーダーになる51の言葉』岩田松雄;著 サンマーク出版 2階一般 請求記号(159.84 イ)

言葉の力の大きさ、奥深さについて改めて考えさせてくれる1冊です。先人たちの格言や名言を通して、人として、リーダーとして生きていく上での、重要な心構えや意識を丁寧に説いています。きっと、あなたの心に響いてくる言葉に出会えると思います。

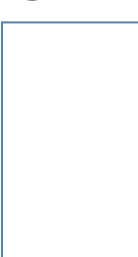
BOOK



『目でみることば』岡部敬史;文 山出高士;写真 東京書籍 2階一般 請求記号(812 オ)

普段何気なく使っている40種のことばの由来や意味を、記述だけでなく、その姿を写真に収めた興味深い本です。さて、その中のひとつ、「うだつが上がらない」ということば、あなたは意味や由来がわかりますか?なお本書は続巻も発行されています。

BOOK



『君を成長させる言葉』酒井穰;著 日本実業出版社 2階一般 請求記号(159.8 サ)

さまざまなジャンルの著名人、88人の言葉を紹介するとともに著者の独自の解釈が綴られています。それぞれの言葉に対する思いや考え、受け取り方はそれを読んだ人それぞれでしょう。どれかひとつでもあなたの心に留まり、自身の糧になる言葉となれば幸いです。

BOOK



『あなたに贈る花ことば』若菜晃子;文 ピエ・ブックス 2階一般 請求記号(627 ウ)

あなたの想いを花ことばに託して大切な人に花を贈りたい方、厳寒なこの季節だからこそ華やかな花を愛でたい方にお薦めです。80種の花の花ことばはもちろん、その特徴、著者の挿話、そして目を奪われる美しい花の姿を捉えた写真をご堪能ください。

◆ ◆ ◆ 今月は全館の展示コーナーで金原瑞人先生フェアを行います。海外文学はわかりやすい日本語、エッセイは軽妙洒脱な人柄がにじみ出るものなど450点を越える作品のなかから図書館所蔵のものを展示します。

金原先生の仕事



BOOK



『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』金原瑞人;著 牧野出版 2階一般(801.7 カ)

翻訳家になったいきさつや、翻訳裏話など「翻訳家」の仕事がわかる自伝的エッセイです。日本語と英語の違いや訳書の宿命など、翻訳の奥深さを楽しく教えてくれる1冊です。カレー屋になるはずだった理由もここで説明されています。

BOOK



『古典芸能(あたらしい教科書)』金原瑞人;監修 プチグラパブリッシング 2階一般 請求記号(772.1 コ)

自身も三味線を長く習っている金原先生。古典芸能にも造詣が深く、各界の若手トップランナーとの対談を通して古典芸能への世界に誘います。初心者におすすめの入門的な内容で、誰も教えてくれないお作法やマナーなどを知ることができます。

BOOK



『わたしはマララ』マララ・ユスフザイ;著 クリスティーナ・ラム;著 金原瑞人・西田佳子;共訳 学研パブリッシング 2階一般 請求記号(289.2 ユ)

教育の必要性を世界中に訴え、苦難を乗り越え活動する姿に感動が集まっているマララさん。彼女の歩みを宗教や文化の違いを踏まえ、日本の読者にわかりやすいように説明がされています。彼女の素顔も垣間見え親近感を覚えます。

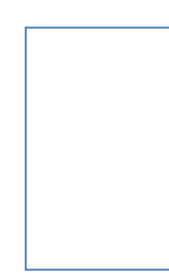
BOOK



『ヴェルヌの『八十日間世界一周』に挑む』マシュー・グッドマン;著 金原瑞人・井上里;共訳 柏書房 2階旅行 請求記号(290.9 グ)

19世紀アメリカ、ヴェルヌの『80日間世界一周』を現実になぞったふたりの女性記者がいました。同じ日に出発した彼女たちは、蒸気船・蒸気機関車を使い継ぎニューヨークにどちらが早く到着するのかを競争します。120年前を追体験する楽しい世界旅行です。

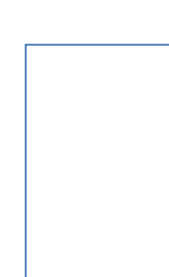
BOOK



『天才たちの日課』メイソン・カーリー;編 金原瑞人・石田文子;共訳 フィルムアート社 2階一般 請求記号(702.8 カ)

天才と呼ばれるクリエイターたちの161人の日常生活を記録した1冊です。毎日を規則正しく生活する人、少し風変わりな習慣がある人、いかに効率的に仕事ができるかを追求する人。さまざまな仕事に対する姿勢や創造力の源を感じることができます。

BOOK



『本棚』ヒヨコ舎;編 アスペクト 2階一般 請求記号(019 ホ)

好みや趣味が反映される場所、本棚。作家など15名の本棚を公開している本です。金原先生は大学の研究室を紹介。所狭しと本がタテ・ヨコ・ナナメに積み重ねられ、床にも本が増殖している状態とそのジャンルの幅広さに知識の広さ、好奇心の強さが見えます。

「続きが気になる本。」ございます。

ついで、続きを読みたくなるような書き出しを紹介していきます。

物語をどんな言葉で始めるのか・・・、作家はとても悩むのでしょうか。



① 武田軍は包囲されている。正面には織田信長・徳川家康連合の本隊が立ち上がり、背後にも別働隊が迫っていた。
「敵方は御屋形様の人となりも良く知っている。うまうまと誘き出されたのです、我らは」

② 拍子木がひとつ鳴った。

「今の拍子木、誰ぞ来る合図かい？」

「ああ、誰ぞが来る。怪しい者じゃなけりゃあいいがな」

③ 最寄りの地下鉄の駅から徒歩で数分。この四階建ての雑居ビルについて褒められる点があるとすれば、交通のアクセスがさほど悪くないことぐらいだろう。

④ 過去を振り返る時、自分のことを「あの少女」と呼ぶことになる。叔母はそういう予言を与えた。そのとき彼女はまだ生きていて、だから今はもういない。親族中を三代さかのぼっても見つからない癌だった。

さて、本のタイトルは・・・◆◆◆◇◇◇◆◇◇◇◆◇◇◇◆◇◇◇◆◇◇◇

①『誉れの赤』吉川永青 講談社 913.6 ヨシカ

②『おちゃっぴい 大江戸八百八』堀川アサコ 講談社 913.6 ホリカ

③『捕獲屋カメレオンの事件簿』滝田務雄 祥伝社 913.6 タキタ

④『十七八より』乗代雄介 講談社 913.6 ノリシ

第6回 とかちジュニア文芸 入選作決定！ 文芸誌は2月21日（日）発行

十勝に住む小学生から18歳までを対象にした公募文芸賞「とかちジュニア文芸」の入選作品が決定しました。今回は、184名から小説・童話・詩・俳句・短歌の分野に260点の応募がありました。

贈呈式は2月21日（日）に図書館にて行います。なお、第6号から入賞作品が掲載された文芸誌を販売します。（1部300円・図書館3階にて販売）

第6回とかちジュニア文芸賞 受賞者

- | | | |
|-----|--------------------|-------------------|
| 優秀賞 | 「日曜日の動物園」(童話) | 古村 南 (稲田小学校5年) |
| 優秀賞 | 「ふとんかぶりとママのゆめ」(童話) | 坪 柚花 (大樹小学校2年) |
| 優秀賞 | 「紫の雲、烏の涙」(小説) | 冨樫 凜香 (帯広第四中学校3年) |
| 佳作 | 「赤鬼山」(童話) | 巖 真弥 (帯広柏葉高等学校2年) |
| 佳作 | 「穴の下」(童話) | 冨樫 凜香 (帯広第四中学校3年) |
| 佳作 | 「臭い春」(詩) | 石井 瞭一 (帯広第四中学校2年) |
| 佳作 | 俳句 | 内村 朔土 (光南小学校1年) |

とかちジュニア文芸推進奨励賞 帯広第四中学校

